

東北大学情報シナジー機構

TAINSニュース



東北大学情報シナジー機構 情報シナジー広報室 TAINS ニュース編集グループ

2019.7.26 No.47

新東北大メールが 2019年8月1日に 本格稼働します

G Suite がはじまります。

目次

お知らせ	2
G Suite for Education の導入について	阿部武三 3
編集後記	7

※ TAINS ニュースは、全教員および各研究室と事務等の各室に1部ずつ配布しています。職員・学生の皆さんにもご回覧ください。また、ウェブで見ると場合は <https://www.tains.tohoku.ac.jp/news/> をご指定ください。

お知らせ

TAINS メールサービスの終了について

前号でもお知らせしております通り、TAINS メールサービス (@m.tohoku.ac.jp のアドレス) の終了が予定されています。これまでの計画では 2019 年 8 月の終了を予定しておりましたが、東北大メール (教職員メール, @tohoku.ac.jp のアドレス) の新サービスへの移行スケジュールを勘案し、終了を少し延長し 2019 年 10 月に終了することとなりました。

サービス終了以降はメールボックスが削除されメールソフト (SMTP/POP/IMAP) によるメール送受信、及びウェブメールの利用はできなくなります。ただし、廃止申請により行われたメール転送設定は TAINS メールサービスの終了後も当面の間継続いたします。

詳しくは、学内向け **TAINS** ウェブページをご覧ください。

<https://www2.tains.tohoku.ac.jp/mail/tainsmail> (学内限定)

皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

本件についての問い合わせ先 **tains [AT] tains.tohoku.ac.jp**

情報シナジー機構情報基盤運用室ネットワークグループ
(情報部情報基盤課ネットワーク係)

G Suite for Education の導入について

情報部情報推進課共通基盤係 阿部武三

1 はじめに

本学は、業務運営の改善と効率化を目標に掲げ、予てから事務等の効率化・合理化に取り組んでおります。また、東日本大震災の経験を踏まえ、学生や全教職員への連絡手段の確保及び緊急・災害時の迅速な情報統制のあり方について見直しを図り、2014 年 9 月に学生用メール、2015 年 4 月に新しい全学教職員メールシステムを開発し、主たる通信手段として運用して参りました。

しかし、約 4 年間皆様にご利用いただきました東北大メールが 2020 年 3 月をもって契約満了となるため、次期においては、学生メールと統合し新たなシステムを構築するのが合理的との結論に至りました。

今回、新たなメールシステムとして、更なる業務運営の改善に加え、セキュリティ対策の向上及び教育・業務サービスの拡充が可能なメールサービス G Suite for Education（以下「G Suite」という。）を導入しましたのでご紹介致します。

G Suite は、2019 年 6 月 17 日から新東北大メールとして運用を開始し、予備稼働を経て 2019 年 8 月 1 日から本格的に稼働します。G Suite 導入によって、現行システムで制限されていたメールボックスの容量が無制限となり利便性が格段に増しました。そのほか、Google ドライブや Google カレンダー等のアプリ機能も充実しておりますので、皆様の日常業務に活用していただきたいと思っております。

それでは、今回導入した新システムの優れている点をご紹介し、次節以降にてログイン方法の変更点等についてお知らせ致します。

■ G Suite

- ★ 不正アクセス対策が強固
- ★ ブラウザに影響されずに使用可能

■ Gmail

- ★ メールボックス容量が無制限
- ★ 迷惑メールフィルタが強固であり、ファイルの種類によらず危険なファイルを遮断
- ★ ウイルススキャン機能を標準搭載
- ★ 検索が早い

■ Google ドライブ

- ★ 他の Google アカウントと共有でき、ドキュメントファイルやスプレッドシートファイルを作成することが可能
- ★ ストレージ容量が無制限

■ Google カレンダー

- ★ 他の Google アカウントと共有でき、複数のカレンダーでスケジュール管理が可能

2 ログインについて

従前の東北大メールからログイン方法が変更になりましたので、下記 URL からログインを行って下さい。

新システムにおいては、下記 3 項目を統合電子認証システムのプロフィールメンテナンス画面でご確認いただきログインを行って下さい。

- ① 全学メールアドレス
- ② 全学メール初期パスワード（初回ログインのみ）
- ③ 従業員 ID



図 1: 新システムログイン画面 <https://mail.google.com/a/tohoku.ac.jp>

3 2段階認証プロセスとパスワード再設定用連絡先の登録について

新東北大メールでは2段階認証機能を搭載しており、この操作を行うことによって、セキュリティが強固になりますのでお褒め致します。

また、パスワードを忘れた場合、予め設定した連絡先で再設定に必要な情報を受け取ることができますのでご活用下さい。

「2段階認証プロセスの設定」及び「パスワードを忘れた場合に備えた事前設定」の設定方法掲載場所
東北大メールホームページ内の移行マニュアル
https://www.bureau.tohoku.ac.jp/i-synergy/tumail/tumail_newmanual.html

4 変更点等について

今回のシステム更新にあたり、メールアドレス、別名アドレスの変更はございません。

現行のメーリングリストはシステム管理者側で移行しますが、2019 年 8 月 1 日から申請方法が変更になります。詳細は、東北大メールホームページに掲載致します。

5 移行作業の概要について

新システムへの移行にあたり、皆様に諸設定と諸作業を行っていただく必要がございますのでご協力をお願い致します。

●新システムへの初回ログイン

対象者：全員

期 限：2019 年 7 月 31 日

●データ移行【メールソフト (IMAP), Web メール】

対象者：移行希望者

期 限：2019 年 12 月 16 日

●メール転送設定の移行

対象者：転送設定者

期 間：2019 年 6 月 17 日～2019 年 7 月 31 日

※現行システムは、2019 年 8 月 1 日以降メールの送受信が停止致します。

6 主な機能の紹介について

Gmail		メールサービス
ドライブとドキュメント		各種データを保存できるオンラインストレージ
カレンダー		スケジュール管理アプリケーション
GoogleChrome 同期		閲覧履歴等を端末間で共有できるサービス
Google ハングアウト		Google が提供する統合メッセージサービス
Jamboard Service		電子ホワイトボードサービス
Keep		メモアプリ及びウェブサービス

※教職員用：2019 年 8 月 1 日現在

※そのほか、順次サービスを広げていきます。

Google および Google ロゴは Google Inc.の登録商標であり、同社の許可を得て使用しています。

7 便利な使い方について

各種アプリの使用により、お持ちのモバイル端末で G Suite をより便利に使うことができます。例として、2 段階認証プロセス用コードの受領や普段使用しているパソコン環境設定の引き継ぎのほか、Gmail と親和性が高いインターフェースでメール操作を行ったり、Google アカウントに送られた通知を受領することができます。

Google ドライブでは、ファイル（写真や Microsoft Word 等）をクラウドに保存することが可能であり、Word ファイルを Google ドキュメントで変更したり、Word ファイルを Google ドキュメント、Google スプレッドシート、Google スライドのファイルに変換したりすることもできます。

さらに、保存したファイルを他の Google アカウントと共有し、「マイドライブ」では保存したファイル毎に共有相手を指定することができます。「共有ドライブ」ではチームで共有するファイルを保存するスペースを作ることができ、例として、プロジェクトチーム用のファイル保存スペースを作り、そこに保存してある資料（Google ドキュメント等）を複数人で同時編集するといった使い方が可能です。

共有の際は、誤ったアカウントを指定しないようご注意ください。

8 おわりに

今回、本学の情報システムとして正式に G Suite を導入しましたので、今後の業務利用においては、個人の Gmail ではなく本学 Gmail の利用をお願い致します。

マニュアル等については東北大メールのホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

<https://www.bureau.tohoku.ac.jp/i-synergy/tumail/index.html>

お問合せ先 情報シナジー機構
情報基盤運用室共通基盤システムグループ
(情報部情報推進課共通基盤係)
TEL 022-217-6179
メール tumail [AT] ml.tohoku.ac.jp

編集後記

■今号は、新しい東北大メールに関する記事を掲載しました。

電子メールは本学の日常業務にも欠かせないものになっているかと思いますが、この先の未来に向かって電子メールがコミュニケーション手段として果たす役割はどう変化していくのか、興味深いところです。（100年後にSMTPを待ち受けるサーバは世の中に存在しているかしら…？）

入稿の時間が迫ってきましたので、短文で失礼します。

(mizuki)

■ネットワーク運用で関わってきた **TAINS** に今度はセキュリティの観点から関わるようになりました。関わり方が変わり異なる視点から見ることになると見える物も違ってきます。いかに利便性を維持したままセキュリティを維持するかは悩ましい問題です。

様々な新しいリスクが登場する時代でセキュリティ問題は避けられませんが、ただ手間をかけるだけでは利用者にセキュリティ対策を実施し続けてもらうことは困難です。ですがネットワークで接続されている現在は利用者全体で実際に実行できる対策である必要があります。利用者としての視点も忘れず、よりよい環境を提供できるようにしていきたいと思います。

(K.H)

TAINS ニュース投稿案内

TAINS ニュースでは皆さんから投稿していただいた原稿についても積極的に掲載していこうと考えております。下記の注意事項に沿って、どしどし原稿をお寄せください。

- 術語以外は常用漢字を用い、新かなづかいを用いて「ですます体」でお書きください。表外字についてはふりがなを振らせていただく場合があります。句読点は、「,」と「。」に統一させていただきます。
- 本文については原則として電子的に提出するものとします。tainsnews06 [AT] tains.tohoku.ac.jp 宛てに電子メールで投稿してください。
- L^AT_EX 2_ε 形式の原稿を歓迎します。クラスファイルとテンプレートは
<https://www.tains.tohoku.ac.jp/news/tainsnews.cls>
<https://www.tains.tohoku.ac.jp/news/template.tex>
に置いてありますので、お手持ちのウェブブラウザにより取り出してください。
- 図は十分に精細で鮮明なものを提出してください。図についても PostScript や Portable Document Format (PDF) 形式で電子的に投稿していただくことを歓迎します。
- 手書きで投稿したいなど、事前のご相談は、以下までお願いします。

〒 980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3
東北大学サイバーサイエンスセンター内
情報部情報基盤課ネットワーク係

email: tains [AT] tains.tohoku.ac.jp
TEL: 内線 (青葉山) 6253 / 022-795-6253
FAX: 内線 (青葉山) 6098 / 022-795-6098

投稿していただいた原稿は、情報シナジー機構情報シナジー広報室 TAINS ニュース編集グループで閲読のうえ採否を判断させていただきます。閲読の結果、編集グループが必要と認めた場合には、原稿の訂正や修正をお願いすることがあります。転載や図版の使用については、著作権者の承諾を得ておくようお願いいたします。また、TAINS ニュースが、東北大学のウェブサイトを通して電子的にも公開されることを、予めご了承ください。

TAINS ニュース 第 47 号

発行日 2019 年 (令和元年) 7 月 26 日
編 集 東北大学情報シナジー機構 情報シナジー広報室
TAINS ニュース編集グループ
曾根 秀昭, 水木 敬明, 後藤 英昭, 阿部 亨,
森 倫子, 七尾 晶士, 齋藤 信, 野田 大輔,
大沼 崇, 阿部 武三, 藤本 一之
発 行 東北大学情報シナジー機構
〒 980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3
(東北大学サイバーサイエンスセンター内)